

令和7年度宇部市公共交通協議会 第2回会議 会議録

日 時：令和7年（2025年）6月20日（金） 15：00～15：40

場 所：宇部市役所 本庁 3階 防災情報センター、3-3会議室

出席者：16名（欠席者6名）

榑原会長（国立大学法人山口大学大学院）

三戸副会長（宇部市自治会連合会）

大谷委員（宇部市交通局）

綿部委員（船木鉄道株式会社）代理 佃様

芳野委員（宇部山電タクシー株式会社）

秋野委員（宇部第一交通株式会社）

西嶋委員（西日本旅客鉄道株式会社）代理 飯島様

國宗委員（中国運輸局山口運輸支局）

上田委員（中国地方整備局山口河川国道事務所宇部国道維持出張所）

渡壁委員（山口県宇部土木建築事務所）

梶山委員（山口県宇部警察署）代理 藤野様

田村委員（山口県観光スポーツ文化部交通政策課）代理 磯部様

太田委員（宇部市地球温暖化対策ネットワーク）代理 木原様

齋藤委員（宇部商工会議所）

石崎委員（社会福祉法人宇部市社会福祉協議会）

磯中委員（宇部市都市政策部）

事務局：4名

交通政策課 新原課長、和田副課長、松本係長、坂倉係員

次 第：1 会長あいさつ

2 議事

(1) 宇部市地域公共交通計画の目標に対する達成度の評価と課題

(2) 地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助、地域内フィーダー系統補助）に係る計画認定申請

(3) 令和6年度収支決算及び監査報告

その他（報告）

・東岐波地区コミュニティタクシーの変更

・令和7年10月1日からの運行計画の変更について（船木鉄道株）

3 その他

## 1 会長あいさつ

## 2 議事

### (1) 宇部市地域公共交通計画の目標に対する達成度の評価と課題

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

#### 【会長】

評価指標④の地域内交通の年間収支率が悪くなっていることについて、利用者数は増えている状況であるが、これは燃料費や人件費の上昇により、支出が増加したことが要因か。

#### 【事務局】

その通り。

#### 【会長】

次期の地域公共交通計画を含めた意見として、いくつか申したい。

現在の地域公共交通計画は、コロナ禍のおそらく一番悪い頃に立てており、基本的には、その時点からは回復することはある程度見込めていた。評価指標①の路線バス利用者数は、コロナ禍以前の令和元年が6,000人程度であり、令和8年度の目標は5,500人となっている。元々、人口減少などにより減少傾向となることを織り込んだ目標になっているが、現状としては、定期利用者数の算出方法変更の影響があるとしても、利用者数は5,000人程度であり、停滞している感は否めない。ここから5,500人まで回復することは正直厳しいと感じる。やはり、そろそろコロナ禍明けの回復が終わって来たのではないか。地域公共交通計画の残りの期間は短くなっているが、次期計画に向けて色々と検討し、そういったことを考える時期なのではないかと思う。

また、宇部線についても、コロナ禍以前と比べると乗降者数が落ちている。評価指標は乗降者数だが、JRが重視する輸送密度は、コロナ禍の一番悪い頃に2,000人を切り、コロナ禍以降に2,000人を回復してきたというのが現状であると思う。JRでは、輸送密度2,000人のラインを重視されている。また、輸送密度1,000人というラインも重視されており、美祢線や小野田線は、この輸送密度1,000人よりも低い状況にある。宇部線に関しては、やはり輸送密度2,000人のラインを守り、その程度の状況は維持していきたいと個人的には思う。しかしながら、人口減少の中で、先行きが厳しいことも事実である。次期の地域公共交通計画の中で、鉄道の輸送密度を維持するために出来ることはないかなど、現時点で検討出来るのではないか。

また、収支目標について、もちろん改善していかなければならないが、やはり燃料費の上昇や、人件費が増えていく流れ、働き方改革により待遇を改善していこうという国の大きな流れがある中で、今後、収支の改善ということはかなり厳しいようにも思う。この部分も含めて、次期の地域公共交通計画に向けての課題であるというつもりで発言した。事務局においても、次に打てる手としてどのようなことがあるか考えていただくと良いと思う。

- (2) 地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助、地域内フィーダー系統補助）に係る計画認定申請 [承認]

事務局から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【委員】

内容について事前に確認したところであり、現時点では特段問題等はない。当協議会後に正式に申請した後に、軽微なものはあるかも知れないが、抜本的なところで問題等はないと認識している。

【会長】

この件について、承認としてよろしいか。

異議なし。

- (3) 令和6年度収支決算及び監査報告 [承認]

事務局から、資料について説明を行い、監査委員である船木鉄道(株) 綿部委員代理の佃様より監査結果報告が行われた。意見等特になし。承認。

その他（報告）

- ・東岐波地区コミュニティタクシーの変更

事務局から、資料について説明を行った。意見等特になし。

- ・令和7年10月1日からの運行計画の変更について（船木鉄道(株)）

船木鉄道から、資料について説明を行った。意見等については、以下のとおり。

【会長】

これらの路線は宇部市としても幹線として取り扱っているもので、やはりできれば安定的に運行・運用いただくことが望ましい。事業者としても、苦しい状況がある中で、出来る限りのご努力をいただいているものと思う。もしも少し難しい状況になったときには、早い段階で言っていただければ、行政的にも対応できる余地もあるかと思う。

3 その他

事務局から、次回協議会（12月または1月開催予定）について案内した。

その他の意見等については、以下のとおり。

【会長】

小中学生のバス無料化がもうすぐ開始となる。意欲的な施策だと思っており、第1回の協議会でもご意見があったが、今後どのように活かしていくのか、あるいは実際にどのように使ってもらえるかというところは、利用実態などを見ていきながら、また協議会などでも議論できると良い。7月19日（土）の夏休みから開始となるので、今後の議題にもなるかと思う。

以上